

仁堀村（にぼり村）

私たちの村は赤磐市の中に存在します。合併により仁堀村から吉井町、赤磐市へと規模は大きくなりましたが、存在は小さくなっていきました。昔、地元の行事は、自分たちで何でもしてきたはずなのに、今では、「役場が」、「JAが」とか言って、自分たちが「しない」、「できない」を言い訳にしているようになっていきました。

誰かが何かをしてくれないから、私たちの村は忘れ去られても良いのでしょうか？誰もしてくれないのであれば、自分たちでする以外ありません。そう、自分たちの村は自分たちで守っていかなければならないのです。

自治体型法人とは？

自治体型法人は会社組織です。何をやる会社かという、自分たちの村を自治し、発展させるために存在しています。

山も畑も学校も役場も、全てがみんなの財産です。なくなるということは、自分の財産がなくなっているのと同じ。であれば、自分たちで役場の仕事も、学校の運営も自分たちで、畑も山も自分たちで管理すればいいんじゃないか？

お金が足りなければ、みんなで稼いで使えば良い。ご先祖様がそうやって地域を守ってきたのだから。

仁堀村で行う事業（案）

<p style="text-align: center;">役場事業</p> <p>地域の自治に必要な役場の仕事を赤磐市役所から受託して、自らの地域に適した住民サービスを行います。</p>	<p style="text-align: center;">学校事業</p> <p>公設民営の新しい学校を作り、若い移住者を増やすための、最高の教育環境を用意します。</p>	<p style="text-align: center;">農林水産事業</p> <p>後継者問題の解決や農業収入の向上を目指し、付加価値の高い農産の実現と、農産に係るサプライチェーンの充実に努めます。</p>
<p style="text-align: center;">建設業</p> <p>地域の土木・建築を受託できる環境を整備し、自らの地域を守るための予算組みから建設工事まで全てを行います。</p>	<p style="text-align: center;">人材派遣業</p> <p>企業からのオーダーに応えられる人材を育成して移住者らの人材に仕事を斡旋します。</p>	<p style="text-align: center;">その他</p> <p>地域への移住者を増やすために、不動産の斡旋等も行います。地域を自治するために必要なことは全て窓口として担っていく予定です。</p>